

スターチス・シヌアータ
Limonium sinuatum
 (イソマツ科)

宿根草であるが、一年草として扱われ種子から栽培されていた。ただし、種子系の品種では形質の固定が十分ではないため、切り花用の品種の多くは組織培養により繁殖される。パステルカラーを含む花色は豊富である。花の着色部位はがく片であり、そこから白色の花弁が突出して開花するが、数日でがく片中にしぼみ込む。がく片がほぼ全開した状態で収穫されかつドライフラワー状のため、花序の観賞価値はあまり低下しない。一方、茎には翼があり、これが発達しすぎると萎れたり、黄変したりしやすくなる。高湿度下では灰色カビ病が発生しやすい。

1) 品質評価基準

項目	判定基準	備考
がく片・花弁の萎縮 (しぼみ込み)	A: 発生なし B: 小花の一部でがく片が萎縮する, または花弁がすべてしぼみ込む(見えなくなる) がく片の萎縮が全花序の C: 1/2で発生する D: ほぼすべての花序で発生する	切り前が早いとがく片の萎縮が起こりやすい。ドライフラワー状になると萎縮は起こらない。
茎葉の黄変	A: 黄変なし B: 緑色がくすむ, あるいはわずかに黄変する C: 黄変が広がる D: 激しく黄変し, 翼や葉が枯れ込む	
茎葉の萎れ	A: 萎れなし B: 下位の葉が萎れる C: 葉が萎れて垂れ下がりがり, 翼も萎れる D: 花首が萎れて垂れ下がる	切り前が早いと, 水あげが難しく, 萎れやすい。
軟弱茎	A: 直立する B: ややしなる C: しなる D: しだれる	
その他	がく片の退色・くすみなど。	

2) 留意点

徐々にドライフラワー状となるため、日持ち終了の判定が難しい。主として茎葉の黄変や萎れによって判定する。

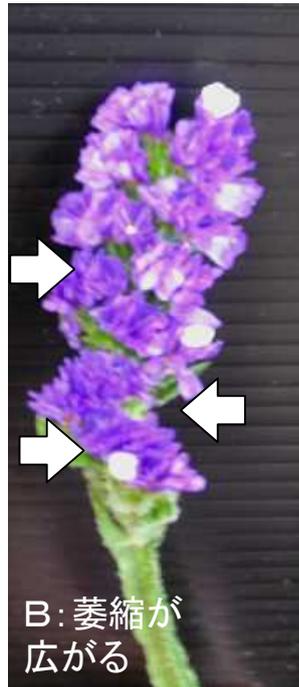
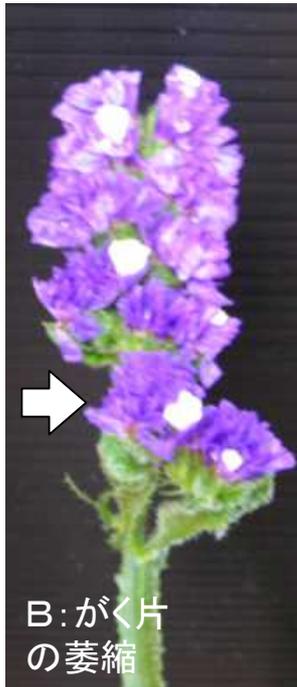
灰色カビ病の発生に注意し、発生がみられたらただちに取り除く。放置すると品質評価室全体が汚染される。

ジベレリンを処理すると花弁の展開が促進されるが、観賞価値にはあまり影響しない。

3) 開花



4) チェック事項



小花の萎縮(しぼみ)

茎葉の黄変

